

みなさん、こんにちは。

さわやかな秋空が広がっています。学校の運動場では週末の体育大会や運動会に向けて練習が続いていますね。

1.『やきもの鑑賞いろいろ』 講演会より

9月17日(日)、台風の前空模様の中、日本陶磁協会主任研究員の森 孝一氏を講師に『やきもの鑑賞いろいろ』と題した講演会を開催しました。約90名の熱心なやきものファンが集まり、やきもの鑑賞の歴史とやきもの楽しみ方にスライドを見ながら話を聞きました。

日本のやきものが生活雑器から鑑賞するものになってきたのは室町の頃。足利8代将軍義政の銀閣寺には四畳半の部屋(空間)があり、床の間が作られていたようです。この床の間が鑑賞の場であり、茶の湯の発展とともに茶人の好むやきものが作られました。中国の唐物や朝鮮の李朝を好む人もいますが、ひびや破れなど、日本のやきものが持つ独特の表情も「美」としてとらえるところに日本人の美意識の幅広さがあります。



森 孝一氏



スライドを見ながら



北口市長も聴講(講演会後の鑑賞で)

森先生は「古い逸品や骨董ももちろんいいのですが、何でもないものから新しい美を見つけることも大切です」と話されました。自分にしか見つけられないもの、新しい美の価値観を見つけることをしてみたいかがでしょうか?身の回りにある何気ないものが、案外自分にとってとても大切なこともありますね。

やきものコレクション名品展：9月24日(日)まで

2. くらしのうつりかわり展「昭和なつかし博覧会」学校団体予約受付中です。

9月19日(火)現在で、明石、神戸、加古川から63校の申し込みがありました。1月中は2階にも会場があり、ゆったりと学習していただけます。2月の午後、3月には余裕がありますので、予約はお早めをお願いします。

「昭和なつかし博覧会」前期 平成19年1月4日(木)～2月4日(日)

後期 平成19年2月6日(火)～3月21日(水・祝)

予約はすべて電話受付となります。(078)918-5400・5405(担当:永田、加藤)

前期は1・2階を使った展示、後期は1階のみの展示となり、観覧料金が異なります。詳細は当館までお問い合わせ下さい。

2. ワークショップ「布ぞうり作り」大好評!

夏休みのワークショップで好評だった「布ぞうり作り」を9月15日(金)発行の「公報あかし」で募集(定員15名)したところ、非常に多くの申し込みがあり、短時間で受付終了となりました。最近の「布ぞうり」人気はすごいものですね。古布の再利用、足裏の刺激による健康志向、何より手作りのぬくもりがある。ボランティアさんと相談し、これからの実施予定も考えています。



夏のワークショップで



ボランティアさんと一緒に